


論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 立 岡 迪 子
論文審査委員	主 査 稲 井 哲一朗 
	副 査 岡 部 幸 司 
	副 査 山 崎 純 
論文題目	Immunohistochemical expression of Fibrillin-1 and Fibrillin-2 during tooth development
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>本学位申請論文は、歯の発生期における歯根膜微細線維の形成過程を明らかにするために、その主要構成成分であるfibrillin-1, fibrillin-2に対する抗体を用いた免疫蛍光抗体法により局在を解析したものである。その結果、マウスの歯冠形成期では歯乳頭、歯小嚢にfibrillin-2の局在がみられたが、fibrillin-1の陽性反応はみられなかった。歯根形成期では、断裂したヘルトウィッヒ上皮鞘 (HERS) の間の象牙質表層付近から歯根膜に向かうfibrillin-1の反応がみられた。また、歯根膜およびHERS周囲にfibrillin-2の反応がみられた。歯根完成歯の微細線維ではfibrillin-1とfibrillin-2が共存していた。以上の結果から、はじめにfibrillin-2が発現し、続いてfibrillin-1が発現して歯根膜微細線維が形成されることが示唆された。さらに、HERSやマラッセ上皮遺残の上皮がfibrillin-2を発現する可能性が示された。</p> <p>本研究は歯根膜微細線維の形成過程の一部を明らかにしており、学位申請論文として価値あるものと評価された。</p>	